

貴講座/診療科名

医学部衛生学（疫学・疾病制御）

問1. 現在の貴講座・診療科に在籍している男女別医師・研究者人数をご記入ください。

（各医系講座・診療科に送付しておりますので、他講座・他診療科に主たる在籍がある併任者は含めないで下さい）

		男性 医師数	男性 （医師以外） 研究者数	女性医師数		女性 （医師以外） 研究者数
				子供なし	（妊娠中） 子供あり	
フルタイム勤務	1) 教授					1
	2) 准教授					
	3) 講師				1	
	4) 助教・助手		1		1	
	5) 医科診療医（専任）					
	6) 医科診療医（社会人大学院生兼任）	1		1	1	
	7) 大学院生（専任）	1				
	8) 研究員					
短時間勤務	9) その他1（職種：社会人大学院生） その他2（職種：）		1			4
	10) 研究生					1
	11) その他1（職種：） その他2（職種：）					
12) 上記のうち貴講座在籍中に育休を取得した人数						

講座・診療科内の意思決定

	男性	女性	非該当（○で囲む）
13) 講座・診療科内の各種委員会等の委員延べ人数			委員会等なし・その他

問2. 出身医師・研究者（事務・技術職員を含まない同門会員等）の男女別人数をご記入ください。
（多少の誤差はあっても構いませんので、できるだけ非該当にせず人数でご記入ください。）

	男性	女性	非該当 （下記の場合○で囲んで下さい）
1) 全出身医師・研究者数（大学在籍者を含む）	42	24	不明・その他
2) 上記のうち、休業者数（固定の勤務先がない人）			不明・その他
3) 同門会等の役員数（各種委員会等の延べ人数）			同門会役員なし・その他

問3. 現在、貴講座・診療科として、大学在籍中の子育て中・子育て希望の女性医師への仕事・家庭両立のための配慮はどの程度されていますでしょうか？
該当する欄に○をつけてください。

(3) および (6) は当直免除期間・許容育休期間を決められていればその期間も記入してください)

	非該当（女性医師が いない、臨床なし、 人事をしない、など）	原則 配慮しない	希望が 出れば、 配慮 することもある	希望が出た場合、 常 にある程度 配慮する	積極 的に 配慮・ 支援
1) 勤務時間の軽減（時間短縮、フレックスタイム等）					○
2) 仕事量の軽減					○
3) チーム制（複数主治医制）による負担軽減	○				
4) 当直（免除期間：妊娠中・産後（どちらかに○を） ～子供が 歳 ヶ月になるまで）	○				
5) 子供の病気・学校行事のための有給休暇取得					○
6) 在籍中の妊娠・出産（育児希望に対し）				○	
7) 産休明け後の育休取得（最大許容期間： ヶ月間）	○				

*上記配慮の代わりにデメリットはありますか？

- 8) 給与面 なし（○）、ある（ ）：具体的に（ ）
 9) キャリア面 なし（○）、ある（ ）：具体的に（ ）
 10) その他 なし（ ）、ある（ ）：具体的に（ ）

*男性医師が子育て支援を希望した場合、上記を女性医師同様に配慮されますか？

- 11) 同等に配慮（ ）、少しは配慮（ ）、男性医師は原則配慮しない（ ）

*その他にも貴講座・診療科として在籍女性医師・子育て中医師への支援事項があれば、下記枠にご記入下さい。（当直回数半減、メンターや女性医師親睦会による相談体制がある、など）

--

問4. 現在、貴講座・診療科として、出身者（＝同門会会員）の女性医師の仕事・家庭両立のための配慮はどの程度されていますでしょうか？
該当する欄に○をつけてください。

	非該当（女性医師が いない、当直なし、 人事をしない、など）	原則 配慮しない	希望が 出れば、 配慮 することもある	希望が出た場合、 常 にある程度 配慮する	積極 的に 配慮
1) 出身者（関連病院等在籍者）への産休・育休支援（応援医師派遣など）	○				
2) 休業中の女性医師への復帰支援（研修のあっせん、復帰にサポート体制のある勤務を紹介など）	○				
3) 人事としての勤務地配慮（夫の勤務地を考慮など）	○				

*男性医師が子育て支援を希望した場合、上記を女性医師同様に配慮されますか？

- 4) 同等に配慮（ ）、少しは配慮（ ）、男性医師は原則配慮しない（ ）

その他にも出身（同門会）女性医師・子育て中医師に配慮している事項があれば、下記枠にアピールして下さい。

--

- （今回の情報提供の試みについてでも、サポートの会の開催時期についてでも、広島県医師会女性医師部会へのご要望・ご意見等ございましたら、下記枠にご自由にご記入ください。

--